

Berlin Report

May 2025

CONTENTS

- * Project 1: Navi New Indian
- * Project 2: ROOMS of AM TACHELES

1. Navi New Indian

Project Overview

近年、経済成長も目覚ましく、世界中で影響力を高めているインド。ドイツではインドからの移民が激増、特に首都ベルリンでは過去 10 年でインドからの移民が 10 倍以上に増えているという。生活費も比較的安価で、IT 分野が成長していることが、その背景にあるようだ。コミュニティの拡大とともに飲食店の数も増えている。

その一つが、人気の飲食店が集まるクロイツベルクにオープンしたばかりのファインカジュアル・インディアン「Navi」だ。オレンジ色や像の置物といったステレオタイプな“インド料理店”の要素を意図的に排しながら、伝統的なインドの色や小物を取り入れたインテリアが美しい。

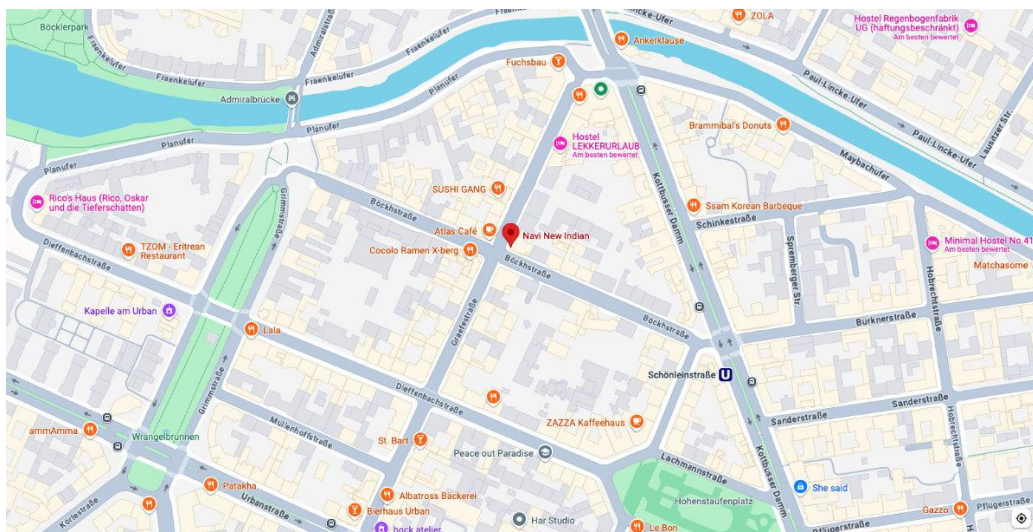
内装を手掛けたのはインドのホテルコンサルティング会社「Curry Fwd Collaborations」。テーブル以外は、アールデコ風のバーカウンター、壁紙やクッションなどのテキスタイルまで、全てインドで特注したものだ。

「インドは色彩に溢れる国。現在は 28 もの州があり、それぞれに歴史や文化も異なる。その文化の多様性を料理はもちろんインテリアでも表現しようと思いました」と、オーナーの Heena Manglani さんは言う。2019 年にベルリンにやって来た彼女だが「ホームとは、いま自分が拠点を置いている場所」だと考え、この店も自分や家族、誰もがくつろげるリビングルームのイメージで作り上げた。曲線を多用したスツールや壁の開口部、低めのテーブル、柔らかな色合いが居心地の良さを演出する。「オーセンティックなインド各地の料理をドイツ中に広めたい」というオーナー。まずは目で、鼻と舌で・・・五感を使って、未知のインドを体験できる店なのだ。

Project Details

1. Client: Navi Gastronomie & Lifestyle GmbH
2. Type of Business: Gastronomie
3. Open Date: 12/10/2024
4. Location: Gräfestraße 83, 10967 Berlin
5. Size: 120 seats
6. Designer: Curry Fwd Collaborations
7. Website: <https://www.wearenavi.de/>

Location Map

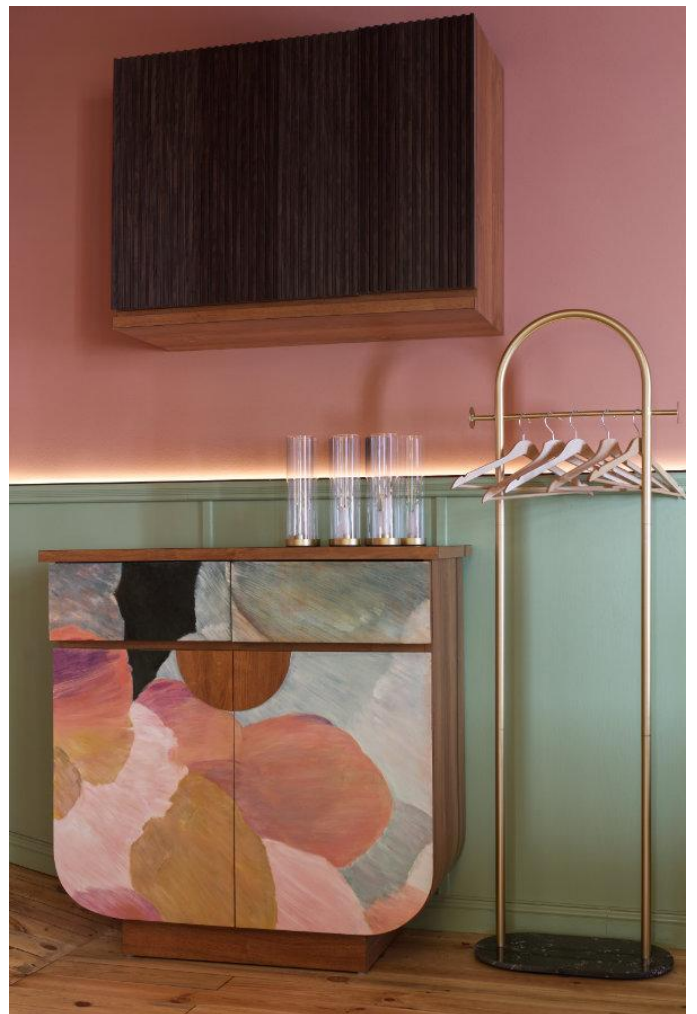


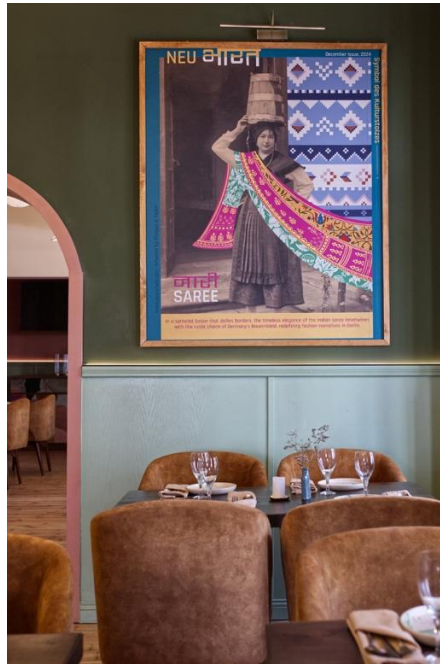


インドで重要視される色を、壁や空間、家具を彩るキーカラーとして取り入れている。



上：居間をイメージした空間なので家具は低めに。下左：ドレープを寄せた布製の照明。下右：アールデコを思わせるデザインを数多く採用。





上：壁にかけられているアートワークは、例えばドイツの伝統的な農婦のモノクロ写真にインドのサリーをコラージュしたりといったドイツとインドの伝統を組み合わせたもの。下左：タイルや天井の絵が空間に動きとリズムを与える。下右：バーもアールデコ風。



2. ROOMS of AM TACHELES

Project Overview

ベルリン、ミッテ地区に新しく完成したばかりの住宅建築。Herzog & de Meuron や、Brandlhuber+ Muck Petzet ら著名な建築家たちが手掛けた住宅の中の部屋を使って、建築家やデザイナーがコンテンポラリーな住まいの在り方を提案する展示「ROOMS of AM TACHELES」をスタート。建築やデザインファンに注目を浴びている。

記念すべき第一回目を担当したのはクリエイティブ・ディレクターの Garth Roberts。本の扉に描かれる短い文章を表す「Vignettes」というコンセプトを掲げ、3つの部屋其々に異なるデザインスタジオ Fernando Laposse、Lotto Studio、そして studioutte を招聘した。

Herzog & de Meuron の無骨なブルータリズム建築の中にある、南向きのバルコニー付きの 79 平米の空間を使い、窓から差し込む光を反射するアルミニウム板を使った家具でミニマルなインテリアを提案したのはベルリンの Lotto Studio。この住宅で最も小さい部屋を使い、最小限で暮らすこと、暮らしの本質とは？と問いかける。

146 平米の広々としたロフト空間に、黒いゴムを張ったキャンバスや黒い鉄の食卓を配し、重厚感とダイナミックなインテリアを提案した Studioutte。

コンクリートの壁面など細部をあえて未完成のままにすることで、ダイナミックさや遊び心を見せる建築家、Brandlhuber が手掛けた建物の中の 107 平米のメゾネットを舞台に、ピンクで溢れる感覚的で遊び心あふれるインテリアを提案したのは Fernando Laposse だ。ピンクの天然石や無垢のオーク材をモザイク状に組み合わせた食卓。毛足の長い生き物のようなスツールやオブジェ。甘めの色合いやフォルムにも関わらず、空間全体が打ちっぱなしのコンクリートだからか、甘すぎず、落ち着いた雰囲気だ。

家具がまだ置かれていないからっぽな分譲住宅の空間は、自らの想像力を無限大に広げることができる真っ白なキャンバスでもある。このプロジェクトは、クリエイティブなインテリアを見せるだけでなく、見るものにインスピレーションを与えてくれるものだった。

Project Details

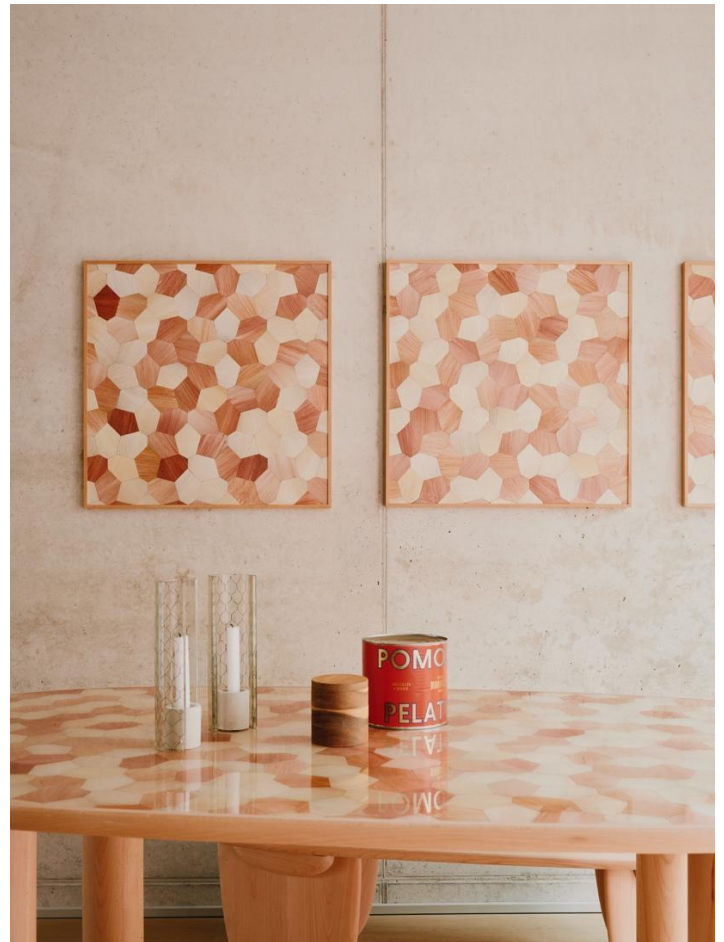
1. Client: AM TACHELES
2. Type of Business: Showrooms
3. Open Date: 20/03/2025
4. Location: Friedrichstrasse 110, 10117 Berlin
6. Creative Director: Garth Roberts, Design Studios: Fernando Laposse, Lotto Studio, studioutte
7. Website: <https://amtacheles.de/> Photography Robert Rieger

Location Map





Fernando Laposse が手掛けた部屋。リュウゼツランの繊維を使った独特の触感を持つテキスタイルを随所に取り入れている。





上 : Studioutte が手掛けた部屋。下 : Lotto Studio はアルミ板を使った家具で削ぎ落とされたミニマルな暮らし、を視覚的に表現。

